

より設計に集中するためのCloud Servicesの5つの活用法

1

共有とマークアップ

SOLIDWORKS®CAD環境では、閲覧可能なマークアップ対応のSOLIDWORKSデータを共有できます。SOLIDWORKS以外のユーザーもこれまでと異なり、新しく何かをインストールする必要も、実際のファイルを受け取る必要もありません、誰でもクラウドのコラボレーション環境で3次元設計の表示やマークアップの追加ができます。

2

安全なストレージ

クラウドベースのストレージでは、設計データが失われる心配は無用です。すべてのデータは安全に保護され、SOLIDWORKSから簡単にアクセスして安全なストレージに保存できます。

3

リビジョン

1回クリックするだけでファイルのバージョンとリビジョン管理が簡単にできます。複雑なファイル名 (...v2.sldprt, anyone?) に悩まされることはもうありません。作業が完了したら、設計を他の設計者にリリースするだけです。

4

リアルタイムのコラボレーションを実現するか

知っておいてください。作業ファイルをzipで受け渡す方法では、効率よく長期のワークフローを進められません!その代わり、CADデータを添付したコラボレーションタスクは全員が同じ情報を参照して、プロジェクトをスケジュールどおりに進められます。リアルタイムのコラボレーション設計では、すべての関係者が統合された単一のコラボレーション環境に参加でき、会議、メール、電話でのやり取りが減らせます。

5

効率的なエンジニアリングプロセス

このスペースは単にファイルを保存するだけでなく、変更アクション、承認、プロジェクトタスクの管理もSOLIDWORKSアプリケーションから直接行えます。このソリューションは、あらゆるニーズに応える拡張性があります。

新規版・更新版のSOLIDWORKSサブスクリプションで提供されるCloud Servicesをご活用ください。
詳細はこちら:[SOLIDWORKS.COM/JA/CLOUD-SERVICES](https://www.solidworks.com/ja/cloud-services)